

## 投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (都市河川係長 糟谷昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S54		現計画	再評価時点
事業名	総合治水対策特定河川事業 (一) 淀川水系駄六川	着工年度	S54	総事業費	25億円	25億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	8億円	8億円
事業区間	伊丹市天津～北園			完成予定年度	H19	-
所在地	伊丹市			進捗率 (内用補進捗率)	90%(100%)	74%(95%)

## 事業の目的

## 事業内容

当該河川は河積が狭小で河積を阻害する横断構造物が存在する。昭和42年7月台風と梅雨前線による豪雨（浸水面積40ha、浸水家屋50戸）等、沿川市街地は過去から幾度も甚大な被害を受けた。  
このため、当該地域の浸水被害を防止するとともに、市街化に伴う流出増に対応するため、昭和28年9月台風13号による洪水に対応した治水安全度1/10を目標に改修を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するものである。

計画流量 Q=80m<sup>3</sup>/s  
(治水安全度1/10：雲上橋)  
実施内容 L=1,830m W=19.8m～10.3m  
護岸、掘削、道路橋10橋、井堰1基等

## 進捗状況

昭和54年に着手し、これまでに護岸、掘削、横断構造物の改築等を行い、(県)西殿開地上流区間までの流下能力を計画流量の100%まで向上させた。  
再評価時点(H10)からH15までに、(県)西殿開地橋上下流の護岸、掘削および堰の改築、猪名川からの背水影響対策等を実施し治水安全度の向上を図ってきた。今後も事業の重点化と効率的な事業執行に努めH19年度に事業完了させる予定である。  
また、河川整備計画を現在検討作業中である。

## 評価視点

## 評価結果の説明

## (1)必要性

・伊丹市密集市街地、JR 福知山線、県道尼崎池田線等を浸水被害から守るため護岸、掘削、横断構造物の改築等の河川改修工事を実施しており、残区間の治水安全度を早期に向上させるため継続的な整備を実施する必要がある。

## (2)有効性・効率性

・ B / C = 8 . 1  
・用地買収が完了しており、また残事業がわずかであることから、早期に事業効果を発揮できる執行環境にある。

## (3)環境適合性

・一部区間に緩傾斜護岸、階段護岸を採用するなど親水性に配慮する。  
・井堰には魚類等の遡上の妨げにならないよう魚道を整備する。

## (4)優先性

・伊丹市密集市街地や JR 等の公共施設を浸水被害から防御する本事業の優先性は高く、また、今後5年以内に事業完了させることが可能である。

## 再々評価の結果

## 事業継続

## 左の理由

上記理由により、事業継続が妥当である。